

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和3年度 第1回松阪市生活困窮世帯学習支援事業運営検討会議
2. 開 催 日 時	令和3年11月19日(金) 午後1時00分から午後2時00分
3. 開 催 場 所	松阪市殿町1340番地1 松阪市役所 5階左側第一会議室
4. 出席者氏名	(委 員) ◎地域福祉課 課長 伊藤 由里 学校教育課 主事 洲崎 貴之 学習支援員 コーディネーター 中野 義則 松阪市生活相談支援センター 瀬古 ルミ 学習支援事業実施検討会議委員 吉岡 一巳 (事務局) 地域福祉課(甚野・青木・平林) 以上 8名
5. 公開及び非公開	公 開 (一部非公開)
6. 傍 聴 者 数	0人
7. 担 当	松阪市殿町1340番地1 松阪市 健康福祉部 地域福祉課 担当者 青木・平林 電 話 0598-53-4670 F A X 0598-26-9113 e-mail seikatsu@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

- (1) 学習室の現状について(報告)
- (2) 教室運営について
- (3) その他

議事録 別紙

(1) 学習室の現状について（報告）

【事務局説明】

福社会館、嬉野地域振興局の2か所で開催。

新型コロナウイルスの影響によって、三重県のまん延防止等重点措置や緊急事態措置のため、8月21日から9月25日まで休止措置を取った。

支援の対象は、市内在住の生活保護・就学援助受給世帯の小学校6年生～中学校3年生の希望する児童生徒。10月末現在の生徒の登録者数については、小学校6年生8名、中学校1年生19名、2年生25名、3年生26名の合計78名。そのうち、嬉野教室での登録者は、中学校1年生5名、2年生3名、3年生5名の合計13名。登録者78名のうち昨年度からの継続参加が45名、新規参加が33名。

開催回数については、今年度、新型コロナウイルス感染症感染拡大による三重県緊急事態措置の実施に伴い、8月21日（土）から9月25日（土）までの6回を休止したが、緊急事態措置の解除を受け、10月2日（土）から再開。また、8月7日（土）については、台風の接近で中止した。今年度10月末時点で、福社会館では23回、嬉野地域振興局では21回の開催となった。

嬉野地域振興局では、令和元年7月27日（土）に開校し2年が経過した。昨年度の始め1名だった登録者数も少しずつ増加し、昨年度末には10名を超え今年度は13名の登録となっている。

生徒の参加者数については、10月末現在の参加状況は、福社会館で延べ633名、1回あたり約27名の参加となっている。嬉野教室の参加者数は延べ120名で、1回あたり5～6名の参加となっている。

登録者全体で78名のうち、実際に参加があったのは62名で、登録後、一度も参加をしていない生徒が16名という状況。

学習支援員の登録状況について、支援員は教員免許を持つ教員OBや講師など12名と、教員を目指す学生22名が会計年度任用職員（第3種）として登録していただいている。参加者数については、福社会館では1回あたりおよそ15名、嬉野教室では1回あたり2名程度。

※以降の協議事項については、情報公開条例第8条第1号および4号の規程により
非公開